

畑作地帯における取組(農協の事務処理の協力による負担軽減)

平地農業地域

びしやもん

4. 毘沙門地区農地・水・環境保全会（神奈川県三浦市）

- 本地区は、活動開始前から水利組合が中心となり、排水路の掃除や畑地かんがい施設の給水栓、パイプライン、貯水槽等の点検補修を実施。
- これらの費用は、すべて賦課金や農家の自費で行っていたことから野菜価格の低い年はこの費用負担の捻出が非常に厳しい現状であった。
- 多面的機能支払交付金(農地・水・環境保全向上対策)を導入したことにより、賦課金の軽減が図られ、また、水利組合の事務局を農協等で行っていたことから、活動組織の事務を能率良く行うために農協で支援している。

【地区概要】平成20年度開始

- ・取組面積 92.13ha
(田 0ha、畑 92.13ha)
- ・資源量 水路6.8km、農道3.7km
パイプライン2.0km

・主な構成員
農業者、非農業者(JA職員等含む)

農地維持支払

地域の現状



- 主要作物：年平均2.3作
冬作のダイコン、キャベツ、
夏作のスイカ、カボチャ、メロン等
- 活動開始前から水利組合が排水路や畑地かんがい施設の点検補修等を行っていた。
- 事業導入により、実費徴収額や賦課金の軽減が図られたことにより、個人の要望から、皆で地域の活動内容に優先順位をつけて、地域として考え、地域として活動するようになった。

取組内容



- 水利組合の事務局を農協等で行っていたことから、三浦市内の5つの活動組織の事務も能率良く行うために三浦市農協で支援している。
- 農協が事務支援することにより、地元農家の事業の事務手続きが軽減され、農地を維持するための共同活動や農産物の生産に専念出来るようになっている。

効果、課題、今後の展開



- 事務処理の支援により、本対策の導入が図られ、全国有数の野菜生産量を誇る畑地帯において、農道、水路、畑地かんがい施設の維持管理が可能となり、農業生産の効率化はもとより、農村環境の保全に寄与している。
- 農業者の更なる所得向上、後継者の育成を目指し、農業生産の効率化を図る。そのためには、地域の農業資源の保全活動を共同で取り組める本対策の実施が引き続き必要となる。